

全国大会報告

第92回 全国高等学校ラグビーフットボール大会

お礼のご挨拶

この度は札幌山の手高校ラグビー部の花園出場に際しまして、多数の同窓生、学校関係者、ラグビー関係者、並びに地域の皆様から暖かい励ましと多大なるご芳志を頂きました。ここに心よりお礼を申し上げます。本校ラグビー部が13年連続で花園に出場することが出来たのも、皆様からご支援を頂いた賜と感謝いたします。

一回戦では長崎県代表・長崎南山高校と対戦しました。前半13分に先制トライを奪われたものの、同28分にトライを奪い返し7対5とリードして折り返しました。ところが後半に入るとじわじわ劣勢に回り、同4分から連続5トライを奪われる展開となりました。残り5分で1トライ、ゴールを返したものの、14対34でノーサイドとなりました。初戦敗退は6大会ぶりで、シード校と対戦する舞台に立つこともできませんでした。しかし涙にくれる1、2年生の姿を見て、来年きっとこの悔しさを晴らしてくれると感じました。

現在新チームは先輩達が残した足跡を胸に刻み、一致団結して練習に取り組んでいます。

最後に、ご支援を賜りました全ての方々に深く感謝を申し上げます。そして今後更なるご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。お礼のご挨拶といたします。

札幌山の手高等学校 校長 西岡 憲廣
札幌山の手高校ラグビー部後援協賛会 会長 西本 一二

試合結果

▽1回戦 12月27日 花園第Ⅱグラウンド

札幌山の手(北海道) 14 - 34 長崎南山(長崎)

1	トライ	1
1	ゴール	0
0	PG	0
7	前半	5
1	トライ	5
1	ゴール	2
0	PG	0
7	後半	29
14	合計	34

前半は展開力で勝る長崎がモールトライで先制すると、札幌も前半終了間際にモールからトライを決めゴールも成功し逆転に成功した。後半に入ると長崎はFW、BK一体となった連続攻撃で得点を重ね勝利した。

日本ラグビー協会 戦評より



平成24年度 全国大会出場協賛金決算

収入の部

1. 寄付金	957,000
2. 父母会負担	5,610,000
3. 生徒会	3,915,750
合計	10,482,750

支出の部

1. 1次合宿	1,308,192
2. 2次合宿	3,937,733
4. 本大会	3,833,684
5. 装具費	566,702
6. 事務費	139,770
7. その他	28,875
合計	9,814,956

収支差引額 667,794 円

この度はラグビー部の全国大会出場にあたり、数百名の方々から心温まるご支援をたまわり、有り難うございました。今後とも、本校ラグビー部へのご支援とご協力のほど、よろしくお願い申し上げます。残金につきましては、次年度の強化費として使わせて頂きます。

事務局長 藤井 栄人

花園観戦記

札幌山の手高校ラグビー部父母会会長 西本 一二

本校は南北海道を代表して連続13回花園ラグビー場の地を踏んで参りました。

2012.12.27「第92回全国高等学校ラグビーフットボール大会」の開会式を保護者及び応援に駆け付けて頂いた皆様と共に、力強く行進する選手達の姿を見て改めてその偉業と感動を覚えました。私自身15年振りの花園ラグビー場でしたが、父母会長として行けたことがなによりも安堵と感激してまいりました。

さて、一回戦は当日第二グラウンドにて強豪長崎県代表の長崎南山を相手に、14時30分本校の「キックオフ」によりゲーム開始となりました。前半は、本校自陣での時間帯が多く相手に攻め込まれたものの、自陣ゴール前では良く我慢してディフェンスをしトライを許さず、逆に少ないチャンスを生かし自慢のモールでトライを奪い7対5で前半終了。

後半に入ってから、南山の展開力に翻弄されたのか5トライを奪われ、我が校の強力FWの力を封印されることで「ノーサイド」14対34と残念な結果となりました。しかし最後までゲームを諦めずに1トライを返すところは本校本来の力と、選手たち熱い気持ちが良く伝わってきた内容で有ったと思います。また確実に毎年進化し続ける札幌山の手ラグビー部であったと確信してきました。

試合終了後の選手の「涙」「悔しさ」がきっと、それぞれ選手達のサクセス・ストーリーになることと信じています。

「ありがとう！三年生」「ありがとう！YAMAKOU ラグビー部」



遠征メンバー () 内は学年

後列左より順に

鈴木 裕紀(3)、内海 圭二(1)、本間 慎唯(1)、四辻 圭佑(1)、
舟橋 諒将(1)、木津谷 元気(1)、岡田 拓末(1)、佐藤 陽弘(1)、
中田 悠斗(2)、森 将誌(2)

中列左より順に

高瀬 力(3)、本間 裕貴(3)、牧尾 翔馬(2)、秋本 庸介(2)、
中 輝(2)、松本 巧也(2)、トビタ・カズ(2)、江頭 将太郎(2)、
鈴木 陸(2)、山崎 年央(2)、亀井 智輝(2)、小林 駿介(2)、
井上 泰佑(2)、大川 芳将(3)

前列左より順に

古川 龍雅(3)、荒 航平(3)、箕田 迅一郎(3)、西本 峻馬(3)、
浅野 祥平(3)、先谷 慎尚人(3)、相馬 健祐(3)、加藤 竜也(3)、
渡邊 隆之(3)、ジョージン・バードン(3)、眞光 雄哉(3)、白方 諒(3)

※山崎 貫志(3) 眞光 智哉(3) 遠征中に怪我



【長崎南山・札幌山の手】後半、札幌山の手FW遠征選手がタックルを受けながらも突破する—近鉄花園ラグビー場で、兵庫立の撮影

平成24年12月28日 毎日新聞